

岡垣町

話し合いの場・ニュース

2017.5.27 vol.1



【作成】社会福祉法人 岡垣町社会福祉協議会

【問合せ】岡垣町役場福祉課(松山・社川) ☎282-1211 / 岡垣町社会福祉協議会(江口・田之上) ☎283-2940

みんなで考え、みんなで作くり、みんながつながる地域づくり。

いこいの里 / 参加者 48名

全体のおおまかな流れ

まずは集まって
みんなで話そう！

町や地域の
課題・現状は？
今から何が必要？

こんなことやりたい！

やりたいことで
グループをつくろう！

やりたいこと
の企画

- ・目的は？
- ・対象は？
- ・場所は？など

やってみよう！
やりたいことの実践



地域での助け合いや支え合いについて、自由に意見を交換しながらアイデアを出しあい、それらを具体的に実現するための「話し合いの場」がスタートしました。第1回は、48名（地域住民26名、民生委員・児童委員9名、事業所等13名）の参加のもと、岡垣町のこれからの考えるための基礎となる“現状分析”を行いました。参加者は、10のテーマについて、それぞれの立場から見える現状を出しあったうえで、「今取り組むべきと感じること」をチェックしました。次回はその結果を踏まえ、話し合いをまた一歩前へ進めていきます！

本日のプログラム

1. 開会
2. グループ編成（8グループ）
3. なぜ「話し合いの場」を始めるのか
4. あなたならどうする？（ミニクイズ）
5. 町の今からを考える
—10のテーマの現状分析—
6. まとめ
7. 次回案内、閉会

みんなが感じている「現状」と「今やるべきこと」の関係は？

昨年度開催した「地域福祉計画」策定のための住民ワークショップにおいて、参加者のみなさんから提出された意見や感想の1つ1つを確認すると、10のテーマが見えてきました。今回は、その10のテーマを活用して、みなさんの現状認識を把握したうえで、今からやるべきことは何かを考えました。

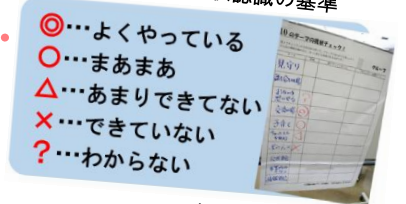
- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1) 自力で避難することが困難な人の見守り体制 | 2) ふれあいサロンを活かした交流の場 |
| 3) 垣根を越えてつながる話し合いの場 | 4) 地域ぐるみで子育て応援 |
| 5) お互いを思いやる地域づくり | 6) 地域で取り組むちょっとした手助け |
| 7) みんなが参加しやすいボランティア | 8) 地域で発揮する事業所のチカラ |
| 9) ひらかれた公民館 | 10) 身近なところでの情報発信 |

現状認識の基準

①できてる？できてない？【現状認識】

<p>できている</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ふれあいサロンを活かした交流の場 ②地域で取り組むちょっとした手助け ③ひらかれた公民館 ④みんなが参加しやすいボランティア 	<p>できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ①垣根を越えた話し合いの場 ②地域で発揮する事業所のチカラ ③地域ぐるみで子育て応援 	<p>わからない</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域で発揮する事業所のチカラ ②地域ぐるみで子育て応援 ③身近なところでの情報発信
--	---	--

参加者個人が感じる現状を基準に基づいて記入することで、まずはみなさんが地域での取り組みができているのか、できていないのかを出し合いました。全体を集計すると、現状認識については左のような結果となりました。



②みんなが感じている「今取り組むべきこと」

さきほどの現状認識を踏まえ、みなさんが「今取り組むべき」と感じるテーマを各自3つ選び、○で囲んでみましょう！

次に、①の現状認識を踏まえ、それぞれが感じる「今取り組むべきこと」をチェックしました。

全体を集計すると、上位3つは『ちょっとした手助け』、『子育て応援』、『話し合いの場』という結果となりました。

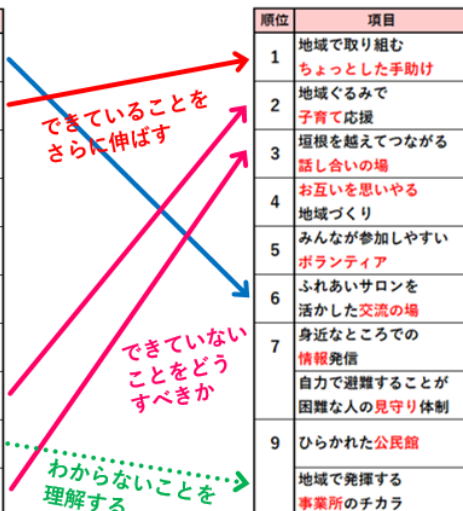


項目	合計
地域で取り組むちょっとした手助け	22
地域ぐるみで子育て応援	20
垣根を越えてつながる話し合いの場	18
お互いを思いやる地域づくり	16
みんなが参加しやすいボランティア	14
ふれあいサロンを活かした交流の場	12
身近なところでの情報発信	10
自力で避難することが困難な人の見守り体制	10
ひらかれた公民館	8
地域で発揮する事業所のチカラ	8

③現状認識と「今取り組むべきこと」の関係性

みなさんの現状認識（できている順）

順位	項目
1	ふれあいサロンを活かした交流の場
2	地域で取り組むちょっとした手助け
3	ひらかれた公民館
4	みんなが参加しやすいボランティア
5	お互いを思いやる地域づくり
6	身近なところでの情報発信
7	自力で避難することが困難な人の見守り体制
8	地域ぐるみで子育て応援
9	地域で発揮する事業所のチカラ
10	垣根を越えてつながる話し合いの場



今取り組むべきこと（多い順）

順位	項目
1	地域で取り組むちょっとした手助け
2	地域ぐるみで子育て応援
3	垣根を越えてつながる話し合いの場
4	お互いを思いやる地域づくり
5	みんなが参加しやすいボランティア
6	ふれあいサロンを活かした交流の場
7	身近なところでの情報発信
8	自力で避難することが困難な人の見守り体制
9	ひらかれた公民館
10	地域で発揮する事業所のチカラ

今取り組むべきことで最も多かった『ちょっとした手助け』は、「できている」という認識が高い中で選ばれており、“できていることをさらに伸ばす”という意識が表れています。しかし、『ちょっとした手助け』と一言と言っても内容は幅広く、なぜできていると感じたのか、できていない部分は…とさらに細かく見ていくことが、今後の取り組みのためのヒントになりそうです。

反対に、2位の『子育て応援』や3位の『話し合いの場』については、“できていないことをどうすべきか”という意識があると言えます。